



## 「安全と収入確保に向けた政策提言実現」 に関する申し入れを行う！

2020年1月、日本国内で初めて新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナという）の感染が報告されて以降、感染が拡大して緊急事態宣言が発令されるまでの事態になりました。そして新型コロナは世界中へと拡大し、全ての移動が制限された結果、JR東日本グループの第1、第2四半期決算は共にJR発足後初めての赤字となり、通期予測も株主配当金の減額を含め赤字になる予測が出されています。

そのような中、JR東労組に結集する組合員は、コロナ禍での感染拡大防止を図りながら、日本経済や経営状況を理解するために様々な視点で議論を繰り返してきた中で見えてきたことは、JR東日本の置かれている現実と、職場で発生している現象により、現実と乖離した職場が多くあるという危機感でした。

職場では、雇用や生活への不安と組合員への差別的な言動や事象がありながら仕事をしている現実がある一方、組合員が真剣にコスト削減やワンマン運転、ダイヤ改正などの会社施策を理解した上で検証運動に取り組み、安全を確保しながら収入をどのように確保するのかなどの意見を基に政策提言を創り出してきました。

地本は、職場で働く組合員や社員が「安全・健康・ゆとり」を実感し、不安なく仕事ができる環境を目指して、下記の通り申し入れを行いました。

### (要求項目)

1. 内房線、外房線で連続発生している動物等による列車衝突に対し、乗務員と相互で運転再開に向けたマニュアル・フローを新たに作成し活用すること。また、運転再開時は徐行運転とし、安全な箇所で車両点検を行うようにすること。
2. 動物等による列車衝突の際には、乗務員が点検のために車両から離れることにより、客さま案内が不可能になることから、情報提供や注意喚起ができる自動放送を設置すること。
3. ワンマン運転時に停止位置誤りが発生した場合、ホームに先頭車両が入っていることが確認できればその場でのドア扱いを可能とすること。なお、先頭車両がホームから出てしまい、エンド交換をして停止位置修正を行う場合はホーム終端まで移動してから、所定停車位置に戻すこと。
4. 緊急事態が発生していることを、指令へ即時に知らせることができる機器を携帯させること。
5. ワンマン運転時の乗務員の負担軽減のために、木更津や上総一ノ宮での乗務員交代は段下げ交代とすること。また、乗務員の働きがい向上、幸福の実現のために、上総一ノ宮へ乗務員基地を新設すること。
6. 新型コロナにより運休している成田エクスプレスについては、収入並びにE259系の運転操縦機会の確保を図り、平日の通勤需要、土休日の観光需要に対応すること。また、運転を行う場合はご利用しやすい料金とすること。

**組合員が、安全で不安なく業務が担える施策の実現と、雇用と生活を守るために、  
黒字経営の実現に向け、団体交渉を行っていきます！**